

ADULT ONLY
R 18

M
の宿命







くっ…

はあ…はあ

何があったかは
知らんが
手加減する
つもりはない

どうした？
いつもより動きが悪いな



しかしいつにも増して今日は
スケベな感じだなあ
お前の仲間も見惚れてるぞ
と

おいおい
戦闘中に余所見を
するんじゃないぞ
と

ククツ
まああんだけ
いい身体してんだ
見るほうが無理か

ガキ



いや……
皆わたしの事……
みてる？

今までこんな事なかったのに
あんなことくらいで
どうして
こんなに集中できないの



わたし……
クラウドが言う様な
女なの？

ティファ
もつと尻上げろよ
脱がせないだろう

あんっ……いや
恥ずかしいよオ

何言ってるんだ
暗くしたら
お前の身体が
見えないだろ

このままで
いいんだよ

ねえ……せめて
明かりをけて
……お願いクラウド……



どうしたティファ
尻の穴ひくひくさせて
見られてうれしいのか

そうだティファ
いいことを
思いついたぞ

ひいつ
やだあああ
何してるの！

やああ…
そんなところ
みないでよオ

すごいなもうこんなに
アナルが
ゆるゆるになってるぞ
お前こっちの才能
あるみたいだな

おいおい
そんなにアナル
締めつけるなよ

ひいやあ
いたい…
お尻やめて

やだあ…これ以上
お尻に変な事
しないでえ

ほらっ
ティファプレゼントだ
戦闘に役立つ
取って置きのマテリアだ

そうか？
初めてのくせに
わりとすんなり
入っていくぞ

いやあ
そんなもの
入れないでよお

ううああ
お尻があ
さけちやう

うくう…いやああ…
どうして？…こんな…
いやああ…

……あひっ……
いやあつもう無理
ひ……ひとつでいいよお
やめて……

何言ってるの……
こんなもの入れたままで
戦うなんて……ひやあん
できるわけないでしょう

はあはあ
……うああ……

しつかり装備して
おかないと
困るのはお前だぞ

ああつ……お願い
するなら普通にしてお

お前が普通じゃないほうが
好きな変態女だからさ
でなければそんな
服着て戦わないだろ
すけべな身体を
見てほしいんだろが

いやあああ
ちがあううつ
わたしそんな女じゃ
ないよお

うう……

ひやう……ううつ
はあはあ……あうあう

……はあはあ

やめてえ
もう
いれないでえ

ぷるる
ぷるる
ぷるる

おん
おん
おん

おん
おん
おん

おん
おん
おん

ぷるる
ぷるる

おん

ひゅん
ひゅん

おん

……



いけない……集中しないと……
だって……わたしは
そんな変態じゃない……



んっ
ううッ……
……はあはあ……



今日は
ここまでだぞ
と

形勢逆転だな
どうする？



あッ

どうなってるかな
ティファ

やめて…
やめてよオ
クラウド

こんなに
ぐちゅぐちゅにして
ティファ
自分でもわかって
るだろ？

ああッ…
クラウド

いッ…いやああ
いわないでッ
ちがつ…違うのお

ちゅっ

じゅっ

なら自分の目でしっかり
スケベな発情まんこ
みてみるよ



こんなにしやがって
変態女め

いやああ…
こんなの…
いじわるしないで

これじゃあ誰も
お前が
処女だなんて
信じないだろうなあ

みてるだけで
まんこ尻の穴までひくつかせて
おまんこぬるぬるにして
恥ずかしくないのか？

いやあ…ちがつ…
…こんなの私じゃない

いっ

いっ

くっ

ちゅっ

くちゅ

じゅん

じゅん

あッ

ギョッ

ギョッ



やああ...
...そんな...
だめえ

えっ?

ひやああ...
そこ...ち
ちがうあうう

いいんだよ
こっちで

いい? 入れるよ
ティファ



やあああああ
やめてええええ
痛いっううあつ
そこはちがうよお

すげえ
根元まで尻の穴に
チンコずっぽり
はまってるぞ

わかるかティファ
尻にチンコ
はいつていくぞ

どうだティファ
まんこより先にアナルの
処女を
奪われた気分は?

やめてっ
抜いてよお

なんでえ……あうあ
どうしてこんな……
……はああうぐ……
酷いよ……ううああ……
こんなのいやあああ……

うれしいのはわかるが
そんなに締め付けるなよ
そんなに早く俺の
精液ほしいのか

わかったよティファ
腸の奥の奥まで
犯してやるよ

そうか？
変態女のティファには
お似合いの初体験だろ

そんなああ
いやああ

くおおおっ！
イクぞおお
ティファああ！

イヤああ
お尻にいい

わた……私の
お尻に……でてるう
こんなのいやあああ



ひやああ...

...ああ...
...はあはあ...
クラウド...

うう... 酷いよ
こんなの 酷いよお

...ああ...
...ひううあ...
お尻が... ううっ

...はあう

初めてでイクことまで
できたお前が
何言っても説得力がないぞ
ティファ

気持ちよかったんだろ
この穴がさあ
イけよ
また尻の穴でイってみせろ

やだああ
もおお
やめてえええ

そんなにされたら
わたしいい

しつかり調教して
立派なマゾ牝に
してやるからなあ
ティファ!





んっん

んっう……いやああ
やだああ……
やめてクラウド

んっん

動くなティファ
危ないだろ



ひん

あんっ……
やだよおお
クラウドお

あわわわ

もっと力抜けよ
うまく入らないだろ

ああっでも……

しばらく野宿ばかりで
たまってるんだろ
お前は恥ずかしがって外じゃ
しないからなア
俺が手伝ってやってるんだぞ



よし
全部入ったぞ

いいから任せて
おけよティファ



そんな……こんなことまで
してくれなくったって……
ああっう……いいよおお
……はああ……

何言ってるんだ
ここまで
してやったんだ
しつかり最後まで
付き合うぜ

あ……ありがとうクラウド
もういいから向こうに行って
お願い……

むにゅ

そ……そんな
最後までって……
お願いだから
向こうに行っていて

ぴんッ

うう……

仕方ないな……

どうした？
早くしないと
まずいんじゃないのか

んっ！

そこまで言うなら
お前の口で
俺をイカせることが
できたら
向こうに行ってやるよ

そ……んなあ……

でも……
こんなところで
口でなんて……



さつさと啜えろ
ティファ
さあ
ゲームの
始まりだ！



浣腸して
私にこんなことまで
させて……
酷いよクラウド……

ああつ……こんなに硬くさせて
私のこといじめて
そんなにうれしいの？

んっ
んぶうう

んんぐう

あうう

あむうう……

お……お腹が苦しいの……
お願い……もう……
もう許してよお
ひ……一人に……させ……て



ああんっ
ひやああッ

ああつ……
クラウドお

ん？
どうしたんだ
ティファ

あああ



ダメだね

そっ…そんな
…あんっ…

そうだティファ
この牛みたいで胸で
チンコしごいてくれよ
そうしたら早くイクことが
できるかもなあ

あんツ
私のおっぱいで
クラウドを…

どうするもう
我慢できる時間も
そんなにないんだろ？



ドキ
ドキ

ああ…
…いじわる…



じじじ

やあツ…
…恥ずかしい…

あつにゅ



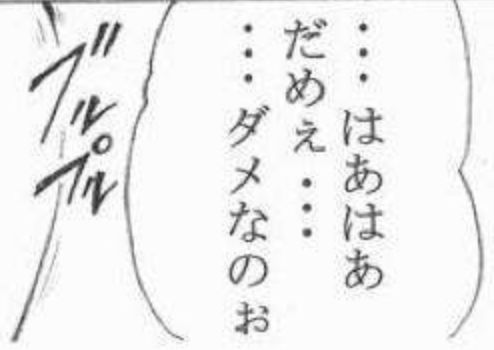
これでいいの？

うう

おおっ

はあはあ…
…んんっ
はやくう…早くいつて
でない…私…
…はあはあ…もう
わ…たしい…ああつ

ぐうう



…はあはあ
だめえ…
…ダメなお

ブルブル

くううう

いっい

いっい



うくう…
…いやああ
お…しり…
がああ

だめえ

ダメ

もうッ
我慢できないよおおお

いやあああッ
もれちやうちやうち!



ひっひっ…
いやあああ
こんなのお
う…ううッ

みないで…
…みないでよお
…ひっく…うう

イル

ガッガッ

見ないでえ
聞かないでええ!

俺も我慢できないよ
ほらっ
啜えてくれッ

…ティファ

ドキドキ

ううっ…私まだしてるんだよ…
なのに口でなんて…はあ…
…いやあ…こんなの…

くっ…ティファ
今度は俺が
たっぷり出してやるからな!

違う…そんなことない…
ああ…早くイって
でない…
私…おかしくなっちゃう

…ああ…
私こんなに…酷いこと
されてるのに…
…気持ちよくなってる?





ひやああッ
でてるううッ
あんッあついのお

くばぁ

くばぁ

スト
スト

くう

び

あん

お前も出し
終えたみたいだな



ぬわぁ
ふあい

ティファ後始末をして
皆のところに
戻ろうか

くわ

はあはあ

くわ





誰かにこのカッコ見られると思つて興奮したんだろ

ひやアんみないでええ

ドキドキ

ハイハイッ

ぷる

ぷる

うう...ちがうッやめて広げないでッ



本当に反省したのか?

してます...あんっだからはずしてください

ドキドキ

ぷにぷに



スケベな声だなあ本当はこのままがいいんじゃないのか?

やつ...だめえ...



尻の穴のほうにまでたれてるぞ

本当にやらしい身体だ汁が溢れてとまらないじゃないか

はあう...いやああああ舐めないでえ

ぷんぷん

あ

そこはだめええ

あくうういやああんっもうやめて自由にしてよお



残念だったな誰にも気づいてもらえなくて

...はあはあ...ちがうう...ああっ

何言ってるんだ気持ちいいんだろこんなにクリトリス勃起させて

あ

あ

あ

あ

ぜんぜん
反省できて
ないみたいだな

ああ……やだ……
……やめて……
はああ……

ひいあ
ひいあ

くひい
痛い……痛いよおお
ひつろろ……うくろ

あッ
!!

どうだティファ
こういうのもいいだろ
もつといい声で
啼いてくれ

すごいなティファ
乳首まで勃起
してるじゃないか

これだけ乳首起ってれば
いいだろう
いいものやるよティファ

……え……?

ク……クラウド……
何する気なの？

いや……

冗談だよね……アアッ
そ……そんなこと
しないよね
……嘘でしょ

……やだ

そんなに
期待するなよ
スケベ女め

ふるふる

やめて……
そんなこと
やああ……

あッ
あッ
あッ

あッ
あッ
あッ



ははっ
よく似合うじゃないか
かわいいぞティファ

あぁ…こんな
痛い…
おっぱいがあぁ

ぷる ぷる

片方だけじゃ物足りないだろ
こっちにもつけてやるよ

ううあうう
ひやあうううう

とつて…あうう
とつてよおお…
こんなのいやだあぁ…



はああうう
引つ張らないでえ
乳首が
とれちゃううう

お前みたいに変態には
これくらいしないと
お仕置きにならないからな



本当に痛いだけか
ティファ?

いや…何?
胸がおかしい?

ひやあああなに？
なんなのこれえええ
はああううう



どうだすごいだろ
お前のために特別に
用意したマテリアは

やああッ
ああんっ



おっと
暴れるなよティファ
手錠とってやるから

そんなッ…
いやあそんな
身体に
なんてなりたくない

これを装備しておけば
いざれいつでも
母乳を
出せるようになるんだぞ



ひい…あ
…ああ…



今日もお前の
大好きな尻穴を
犯してやるからなあ

よしっ
こっちに來い

いやあ…
…やだあ

今度は俺を
気持ちよくさせて
もらおうか

どうして…
何でこんな
ひどいこと
ばかりするの？

身体は正直だぞ
ティファ
イヤだと
いいながら

やっ...もう
もうお尻はいやあッ
ゆるして...

俺のチンコで
犯してもらいたくて
ズブズブ啜えこんで
いくじゃないか

ああっ...わ...
わたしは...ひぐう...
そんな変...態じゃ...
ああっ...ない...うあ

まったく
強情な奴だ

うう...あぐうう
おあああ...ああっ
お尻で...感じてなんて...
ああっ...いない...はああう

アナルセックスで感じる
自分をいかげん
認めたらどうだ?

ねえ...お願い
だからああ...ひやあ
普通に...ああ...
あそこですてよお
...はあああうッ

何言ってるんだ
変態女のお前の
本性をもっと暴いてから
処女もらってやるよ
お楽しみは後にと
っておかないとな



ひどい……あぁっ
これ以上まだ……うう
私を……いじめるのね……

心の中では
お前だってそれを
望んでるんだろ

ちがう……はぁあ
私は……こんなの
望んで……あぁっ
……ない

そうかな
ならこの反応は
何なんだ？

いじめられて
気持ちいいん
だろう？

ちがうッ……
……うあああ……
……違うもん……
ひやあ……うう

ひやああ……だめえ
そんなに激しくされたら
あぁっ……ふあああッ

まあいいさ
その強がりも時間の
問題だろうからな
いつまで持つか
楽しませてもらう

ああふうう
でてるうう
クラウドッ

お尻でえええ
いやああああッ
だめえええっつ





くろくろく

どじやら
こじまでのようだな



クラウドッ

いやあッ
しっかり
してえ



うああッ

甘いな



クラウドッ!



来るなッ



!



終わりだ...

くろくろく



ふッ



クラウド……

くッ……

どうした
そいつを助けたくは
ないのか？

……わかったわ……

三ノ川



はあ……う

いいだろう

俺を満足させることができれば
今回は見逃してやる

その代わり
や……約束は
守ってもらわよ
クラウドは助けるって

いっん
……
いやっ……こんな時まで
どうして私の身体は……

……
……
……

それで
終わりではないだろう
さっさと下も脱げ

……はい……
わかっています……
ううッ……

だめッ
まだそこまでは
心の準備がッ

……

……
……



や...
やめて...

きやっ

ふんっ

...ちがッ

どうした
もつと抵抗して
みるよ

どぎも

所詮
口先だけか女



いた...ッ
...ああッ...

ほらほら
どうした?

いやあ...ああ



ゆるしてええ

ああッ
だめええ

力ずくというのも
悪くないしな

はあぐう

これも
邪魔だっ

…はあ
あうっ…

感度も
いいようだな

ひやああん
そんなッ

あッ…
…んっん

やだあ…
さ…
触らないでえ…

ふんッ
なかなかの揉み心地だな

くうう
…いやああ

あうっ

あうっ

ひやああん

あうっ

あうっ



なんだ
もう抵抗しないのか？

それとも
お前の中のマゾの血が騒いで
たまらないのか？



そのわりには
綺麗な穴だ

どうして……ああつ
……そのことを……
ひやあん……



くく……確か
クラウドにこっちの穴を
ずいぶん開発された
はずだったな



変態女が尻の穴を
少し触っただけで
喜びやがって

ぬふん
ふん
ふん



だめええ...
入ってくるうう
...ああつ...
お尻...いやああ

ふあああツ...指...
...やああああ...

あ...あ...
あ...あ...

びん...びん...

びん...びん...

びん...



いいぞ変態女
尻穴で
イってみせろ

はああうう
そんなに激しく
しないでええ

いやつ
いやああ

びん...

びん...

だめえええ
私...ああつ...
たすけてええ
クラウドおおつ

いっちやうつ
いやああああつ
こんなのだめえええつ
イクつうううつ

びん...びん...





はあッ...
もしこれで
さらたら
私...

くっ...
これもクラウドの
ためよ

...それにしても
すごい...
クラウドよりも
大きいかも...



いやッ
何考えてるの
私...だめックラウドを
助けるために
仕方なくしてるのよ



この男を
早くイかせて
クラウドを
助けなくちゃ

おおっ
これはなかなか

お願い...早くイって...でない
またおかしなこと考えちゃう...

おっと
そこまでだ

そろそろ
下の穴を味わわせて
いただけようか

んっ?…んんっ

それとも…

まんこにいれて
処女膜ぶちやぶって
やろうか?

むにっ

さあ
どっちの穴に
チンコほしいんだ?
やはり尻の穴か?

そ…
そんなあ…
いやあ…

いやあッ

だめっ
それだけはいやっ





お望みどおり
こっちに
入れてやろう

変態女が...
尻の穴のほうが
やっぱいいの
か

ひいつ
いやあああッ
助けてえ
クラウドオオ

ちがうッ
やめてえ



いやああ

だめええ
こっちみないで
お願いッ



うそ...
クラウド...

... ティファア?



お前にしてはなかなかの女を
ものにしたようだな
早速味わわせてもらっているぞ

ふんっ
やっとお目覚めか
クラウド

テイファア!

くっ



やだああ
やめて

見えるかクラウド
どうやらこの女も
俺のものを
気に入ったようだぞ

みないでええ
クラウド

かーばー

何言ってる
もっと見ての
間違いだろ

やっやっ
ぬぬ

ずるっ

どうだ自分の
女が犯されてるのを
見る気分は？

ああッ
いやああ

隠すなよ

くくくつ
次は俺のちんぽで
イクところ見てもらえ

くつ…
セフィロス

はああう
そんなああ

だめつ
でちやうう
やああッ

うッ…ぶ

ひあああッ
イクうううう

許してええつ
ああッ
クラウドお





…ああ
ごめんなさい
クラウド
私…

ティファ…



うう…



や…やめろ
ティファ何するんだ

カキカキ
カキカキ

はあッ
クラウドの
…おちんちん

ああッ
おち…んちん
す…き…



んっ
ああッ



!

クラウド…



…クラウド…



ごめんね…

ティファ



くっ
：・よせティファ
自分が何してるか
わかってるのか？

う……ん
んっんああ

んぐぶううう

だ……めだ
ティファ……
やめろ
俺の言うことが
聞けないのか？

んぶっ……ううっ
……んっ……んっん

だめだ
これ以上は……

くっ
ティファ！

ンアウロお
らしれえ……

んはあ

おっと
そこまでだ

やああッ
らああああ

ほわん



いやあああ
わ……私
本当にまだ

いいぞ
もつと泣き叫ぶ！

ぐにゅぐにゅ
みゅみゅ

やああッ
こんなの

どうした
入るぞ
もつと抵抗
してみる

やだああ
中にはいつて
くるうう

ぐにゅぐにゅ
みゅみゅ

ああッ
た……助けてえ
クラウドおお

ティファ

ティファ
ティファああ

うぐうッ

ぐにゅぐにゅ
みゅみゅ

ひいひいひいああッ
はいつてるううッ

どうだ
初めてのオマンコの
感想は？

うそおお…
いやあああッ

おおッ
さすがにきついな

はああうう
動いちや
いやあああ

ティファ

もういや…
…痛い…

お願い…
…やめて



ふんっ
俺は気持ちいいぞ

ズッ
ズッ
ズッ
ズッ

ズッ

ズッ
ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

いやっ
しらない
そんなこと

お前が犯されてるのを見て興奮してるぞ

みてみる
クラウドを

くくくっ
もっとみせつけて
やるとするか

ズッ

ズッ

ズッ
ズッ

う...嘘...
そんな...どうして?

ズッ





テイファ

う... あああ
クラウ... ドお

みないで...
そんな目で...
見ないで...

そんな目で...
... ああッ
見られたら私...



おかしくな... ちや
ああ... うよお

やはああ
いやあああん



ふんっ
変態女が嘘をつくなよ

いつてなん
か... いない

あいつに
おまんこ見られて
イったな?

ちが...



ひやああ

くちゅる

んくう

はああ

んっううッ



くそお...
力抜けよティファ
入らないだろう

何?
ク...クラウドッ
なにするのぉ?

んっ!
!?



そんな...
いやっ
やめてえ

何でだ?
そいつのものは
よくて俺のは
どうしていやなんだ?

ちが...う...ああ
そうじゃ...なくてえ

り...両方...
一緒になんて...ああっ
無理だよお...うああっ
...あくうう...

もう
少しだティファ
もっと力抜け

あ
ひん
か

あ
ひん

あ
ひん

あ
ひん

あ
ひん

あ
ひん

あ
ひん

あ
ひん

あ
ひん

あ
ひん

あ
ひん

あ
ひん

あ
ひん

あ
ひん

あ
ひん

あ
ひん

やああ……うあぐう
……やめて……うづ

カ
カ

うああつ
無理……こんなの
ダメえ……
壊れちゃ……
……うよお……

入った
入ったぞティファ

こんなに乳首
硬くして……

うあああつ
きついひい
私の中
おかしひい

俺の目の前で
処女破られて……

二本同時にちんこ
入れられて喜んで……
ここまでお前が
変態だったなんて

なあティファ
どつちだ？
どつちのちんこが
いいんだ？

やん

ん？
オマンコの
ほうがいいだろ？

いいおおっ……ああ
クラウドのおちんちん
きもちいいのおお

やん

やん

やん

やん

やん

びくん
びくん

やん

やん

答えるどつちのちんこが
気持ちいいんだ？

あふうう
すごい……ああッ
前もおお……うああ

おまんこも
ああっん……
きもち……いひい
……のおお

くそお……ティファ
中に出してやる
この変態牝豚がああ





やあああッ
だめえええッ

ひやあああ
クラウドっ

うぐうあつ
テイファああ

ちんちんっ



うあああつ
でてるうう
なかでえええ

らめえ

わたしもおおッ
イクッ・・・ああっ・・・
イっちやうううううううう

あッ
うん
うん

あッ

あッ

あッ

その後
気がついたときには
あの男は
もういなかった



私たちは今も
旅を続けている
微妙に関係を変えながら……

発行日 2009 8 16

著者 ハスミヒロ

メール hasuminanoda@mail.goo.ne.jp

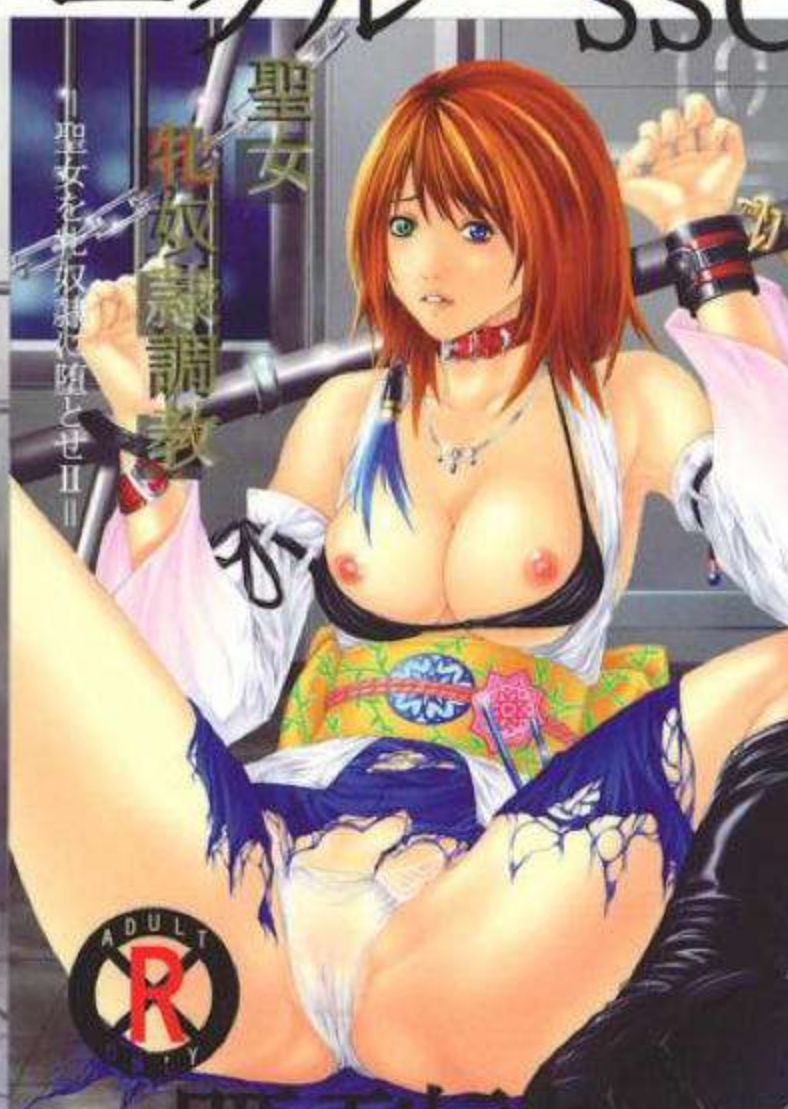
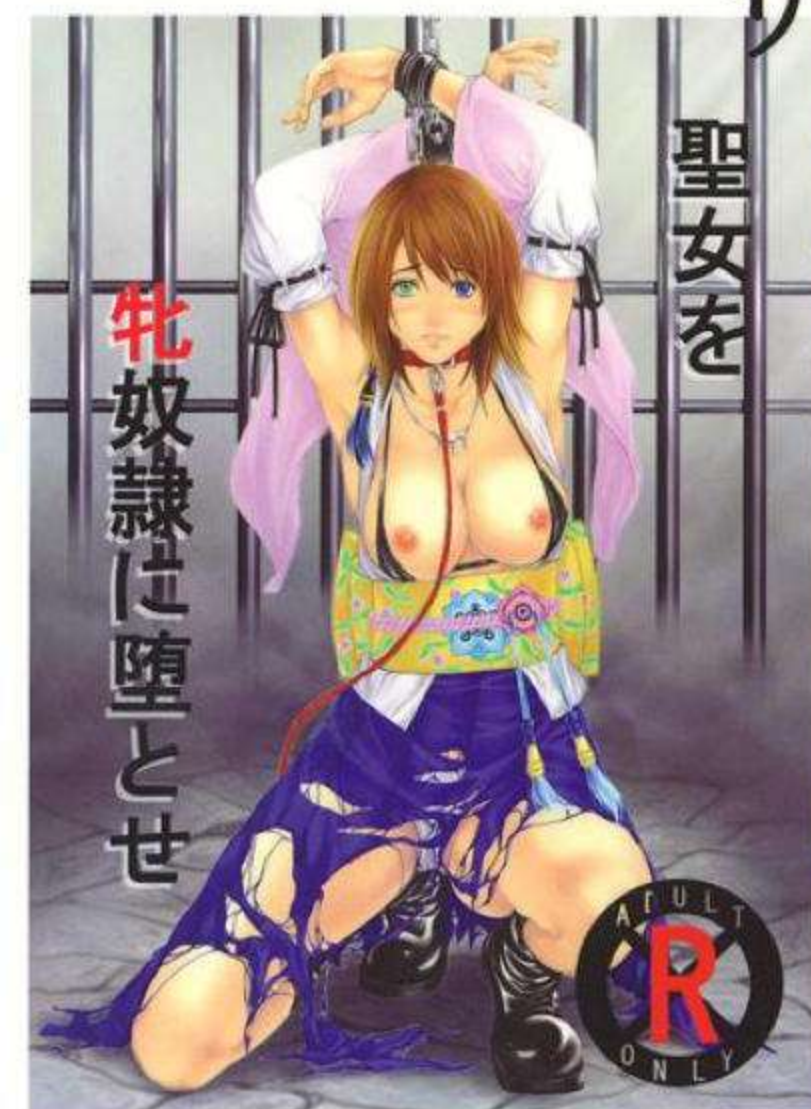
ブログ <http://blog.goo.ne.jp/321desu>

サークル SSC

印刷所 ねこのしっぽ様



サークル SSC



既刊誌

